

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	10		作成日	平成25年9月24日	
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業
	項	2	安心安全に暮らせるまちづくり	課等名及びグループ名	消防本部 警防課
	節	4	消防救急体制の強化	記入者 職氏名	警防課長 小野瀬 英一

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事務事業名	消火栓設置事業			
事業概要	対象	消防施設の整備		
	目的	消防水利の充実強化を図り、消火活動の円滑化を目的とする。		
	実施内容	消防水利不足地区への消火栓の設置		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	水道事業会計		過疎計画	施策区分	生活環境の整備
	款	1	資本的支出		事業名 (施策名)	消防施設
	項	1	簡易水道建設改良費			
	目	1	簡易水道建設改良費			
事業名	消火栓設置事業		根拠法令			

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

年度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位:千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績						
平成 22 年度実績						
平成 23 年度実績	2,146					2,146
平成 24 年度実績	3,758					3,758
平成 25 年度当初	4,500					4,500

特定財源 の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分						

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	町全体における消火栓等消防水利の数は、まだまだ足りない状況で、学校プールの廃止や、消火栓の撤去、道路拡張等による既存防火水槽の撤去など消防水利としているものの減少もあり、充足率の上昇に至らない状況である。
------	--

V 問題点の概要

問題点	消火栓は防火水槽に比べ安価で消防活動に適した場所に設置出来る水利であるが、口径150mm以上の水道管本管に設置することが基本となっており、大子町の現状、新規の設置は難しい状況となっている。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
消防水利充足率	%	42.3	45	-	46	-	47	-	48	88.1%
指標に表われない効果	火災防御戦術の組み立てが容易となるため消火態勢が早期に確立され、地区住民の安心が得られる。									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	消防水利は、消防法により当該市町村が設置し、維持管理すると定められ、国が定める市町村施設整備計画に基づき実施している。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	大子町は面積が広大で、設置範囲が広範囲となるが、一度に数多くの防火水槽を設置することは財政的に困難であり、比較的安価である消火栓での対応は有効であるが、現状では町内の水道管150mm以上の地区が少なく、設置困難となっており、本管口径が基準を満たす太さになれば設置は極めて有効である。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 効率的でない	労務費や原料等の高騰によりコストの削減等は困難である。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input type="checkbox"/> 公平である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	消防水利は、火災から人の生命・財産を守るのものであるから町民の理解は十分に得られているが、消火栓については、水道管本管口径に左右されるため、町内の大部分で設置困難となっている。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 現時点での, 消火栓の設置については, 基本となる水道管本管口径150mmを満たす地区が極めて少ないため設置を進められない状況であるが, 今後, 水道管の敷設換え等により口径の拡大が図られれば, 設置事業を進めることが極めて有効である。</p>										
<p>【担当所属長意見】 現在, 消防水利の充足率は50%以下と低く, 町民の安心・安全のためにも, 計画を継続して実施し, 消防水利の確保に努めなければならない。</p>										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】 一次評価のとおり。</p>										
<p>【備考】</p>										